

農学における情報利用研究フォーラムグループセミナー

農学研究を通じた我が国の発展への 貢献に関する一事例の考察

12月15日(火) 13:00~

於: 7号館A棟7階会議室

DATE: 15th Dec. 2015 at 13:00-

VENUE: meeting room, #7A Bldg., 7F

speaker

栗津 勤 博士

農学における情報利用ゼミナールを履修していない学生も参加できます

文部科学省 研究開発局 参事官付
専門官 (原子力損害賠償担当)

産学官民の連携が進展することにより、大学における学問や研究の可能性は大きく展開している。もちろん、農学研究を活用できるフィールドも実に広く、多種多様である。そのため、成果の活用に際しては、大学のみならず産業界や行政も視野に入れ、幅広い選択肢の中から戦略的に方針を定めていくべきである。現在、行政職員として我が国の発展の貢献に資するよう文教行政に携わる職員が、自分の大学から現在までの農学研究を活かした経験を踏まえ、職務の実際など具体的な内容に触れ、議論を交えながら現在の学生における将来の進路について考察を行う。

参加申込・問合せ先:

細井文樹 (生物環境情報工学)

contact:

Fumiki HOSOI (ahosoi@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)
(Lab. of Biological and Environmental Information Engineering.)

information

AGRI-COCOON

Agricultural Research Incubator Community for Cooperative Network of Public, Administrative, Business, and Academic sectors.
room 105A, #3 Bldg., Graduate School of Agricultural & Life Sciences

TEL: 03-5841-8882 (ext. 28882)

e-mail: office@agc.a.u-tokyo.ac.jp

http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp